

事業番号	13 01 01	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業			担当課	部局	企業局	
総合5か年計画	プロジェクト	環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			課・室	電気事業課	
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり			E-mail	kigvo@pref.nagano.lg.jp	
		1 地球温暖化対策・環境エネルギー政策の推進			実施期間	S33 ~	

1 事業の概要

目指す姿	既設発電所の良好な管理に努め、電力の安定供給を図る。また、新規発電所の建設を進め、自然エネルギーの普及・拡大に努める。 発電所数 14(H25) → 16(H28)
------	---

現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 既設14箇所の発電所には、建設から50年以上経過したものもあり、施設設備が老朽化しているため、計画的に施設設備の更新や耐震化工事を実施している。 自然エネルギーの普及拡大と経営の安定に寄与する2箇所の新規発電所の建設を進めている。
-----------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 【左記の説明、根拠法令等】 地方公営企業法、長野県公営企業の設置及びその経営の基本並びに財務等の特例に関する条例、電気事業法 県民との協働による実施：実施は困難
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	新規発電所の平成29年度本格稼働を目指し、建設事業を推進する。 新規発電所建設事業の進捗率:高遠発電所 43.1%、奥裾花第2発電所 20.9%				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27実施実績		H28
			(当初)	(決算)	(当初)
	電気事業収益[A]		料金収入、受取利息、補助金、特別利益等		4,167,465
電気事業費用[B]	直接	職員給与費、修繕費、減価償却費、支払利息等		3,257,109	
差額[A-B]		(利益)		910,356	
既設発電所改良事業	直接	既設発電設備等改良整備費		1,391,244	
新規発電所建設事業	〃	高遠発電所建設費		321,808	
〃	〃	奥裾花第2発電所建設費		792,459	
(注)差額の()は、収益と費用から消費税相当額を控除した利益です。					

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	0	13,682	112,396	477,332	項目	H26末(実績)	H27			H28目標	
		当初予算	3,979,202	5,067,634	5,501,885	6,569,916			目標	成果	達成状況		
		補正予算	74,304	-264,752	-6,186		進捗率	高遠発電所	14.0	43.1	17.1	未達成	100.0
		合計(A)	4,053,506	4,816,564	5,608,095	7,047,248			奥裾花第2発電所	6.4	20.9	13.4	未達成
	Aの財源	料金収入	2,518,772	2,766,202	2,765,346	2,958,332							
		企業債		330,000	872,200	1,748,000							
		損益勘定留保資金	1,160,694	1,054,553	630,256	1,210,825							
		その他(積立金他)	374,040	665,809	1,340,293	1,130,091							
		決算額(B)	3,810,587	4,383,874	5,012,299								
概算人員費		職員数(人)	53.00	53.00	54.00	55.00							
概算事業費(B(A)+C)	概算人員費(C)	電気事業費用[B]で計上											
		3,810,587	4,383,874	5,012,299	7,047,248								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 春先の雪解け水や降水量に恵まれたことから、発電電力量は前年度を上回り、損益は目標を達成した。 新規発電所の建設については、入札不調によりH27年度の出来高は目標を下回ったが、工事の工程を見直すことにより、H28年度末には工事は完了し、H29年度からの売電に支障は生じない見込み。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 長野県公営企業経営戦略(H28.2策定)に基づき、 ・新規発電所については、平成29年度の本格稼働に向け、引き続き工事の進捗管理を行っていく。 ・新規発電所の売電に当たっては、「信州発自然エネルギー」として大都市へ売電しその利益を県民に還元するという、大都市との未来志向の連携に向けて、その新たな手法を検討する。 ・既設発電所の運営については、発電電力の安定供給体制の維持及び計画的な施設の更新や耐震化工事を行い、安定的な経営の継続に努める。
--------------------	---